

道内の感染状況等について

【令和3年6月16日】

主な指標の状況(全道)

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (6/15)	903 床 ↓	32 床 ↓	3326 人 ↓	3.7% ↓	874 人/週 (16.5人) ↓	0.57 ↓	36.6% ↑
道ステージ5基準 (国ステージⅣ)	900床	90床	1327人	10%	1327人/週 (25.0人)	増加	50%
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

特定措置区域の主な指標の状況

	監視体制	感染状況		
	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
札幌市 (6/15)	4.1% 	575人/週 (29.4人) 	0.60 	40.9% 
石狩振興局 (札幌市を除く) (6/15)	10.6% 	72人/週 (17.1人) 	0.40 	23.6% 
小樽市 (6/15)	3.0% 	22人/週 (18.9人) 	0.71 	36.4% 
旭川市 (6/15)	1.4% 	26人/週 (7.7人) 	0.40 	26.9% 

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

国の分科会提言で示された新たな指標(全道)

	医療提供体制等の負荷				監視体制	感染の状況	
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (6/15)	確保病床の使用率 45.6%	入院率 27.1%	確保病床の使用率 22.1%	62.7人	3.7%	16.5人	36.6%
【参考】 札幌市	78.4%	31.7%	36.0%	76.2人	4.2%	29.4人	40.9%
国 ステージⅣの指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上
国 ステージⅢの指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上

感染状況(全道)

新規感染数(人)

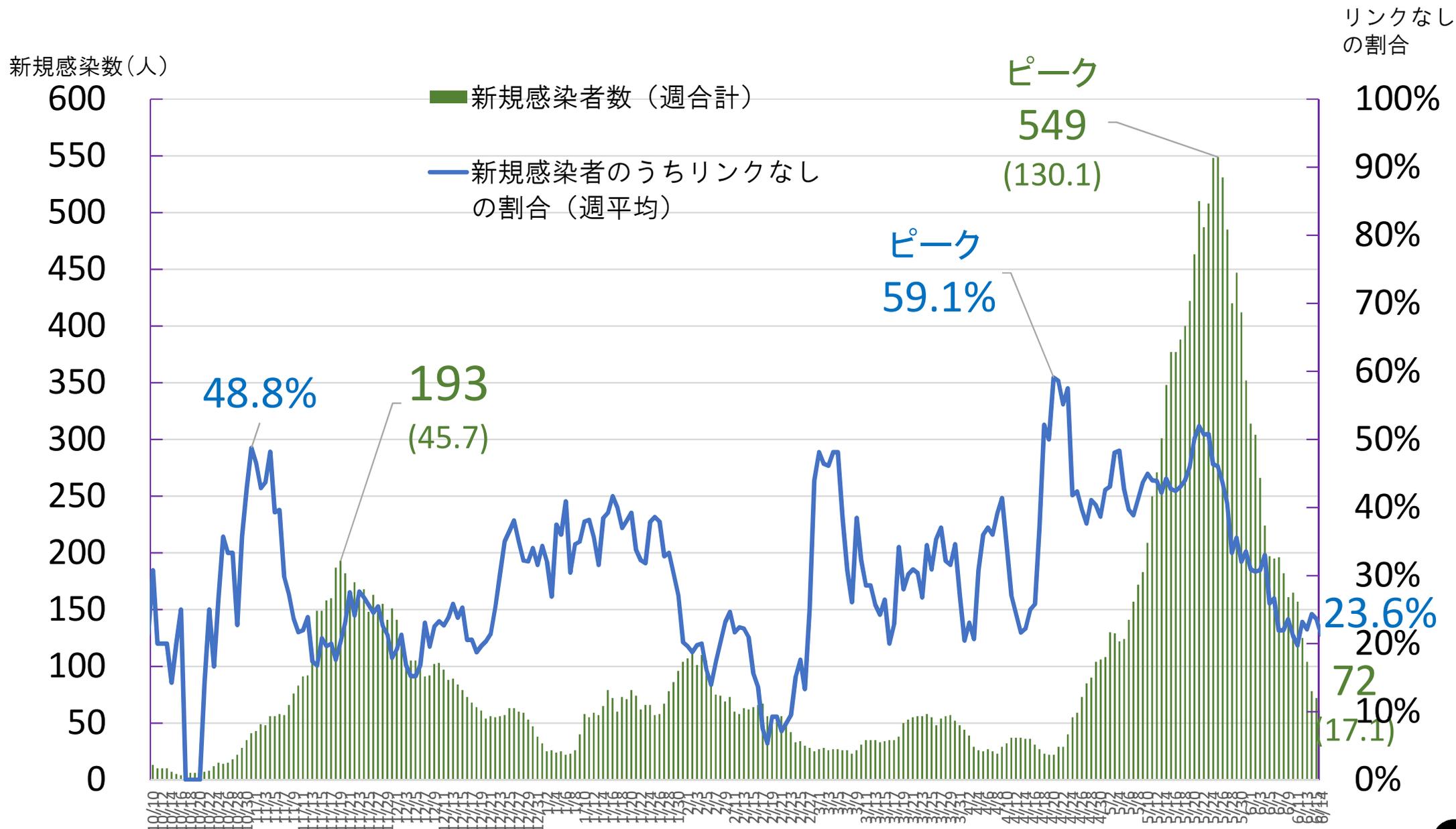
リンクなしの割合



()は10万人当たり人数

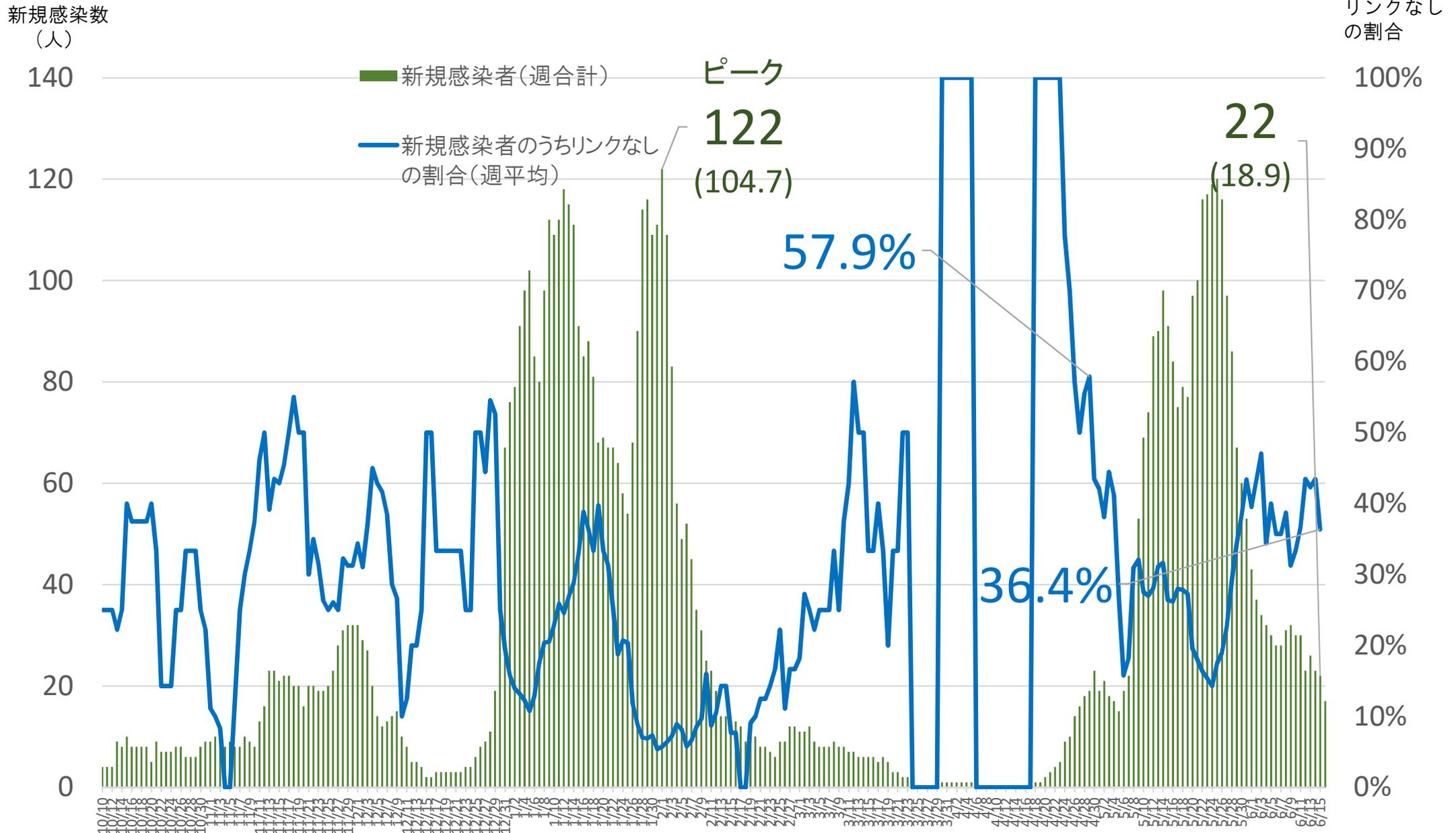


()は10万人当たり人数

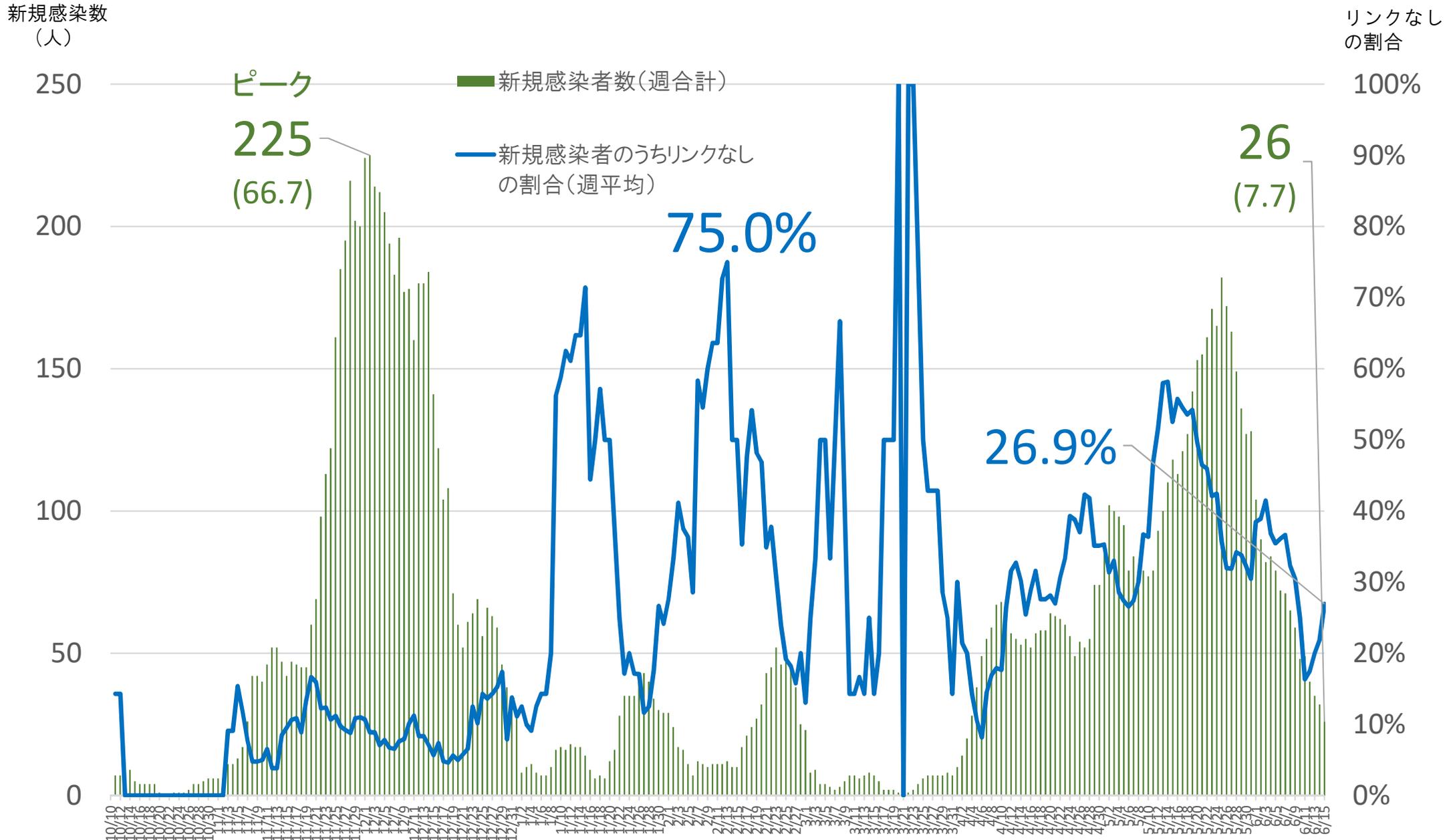


()は10万人当たり人数

小樽市の感染状況

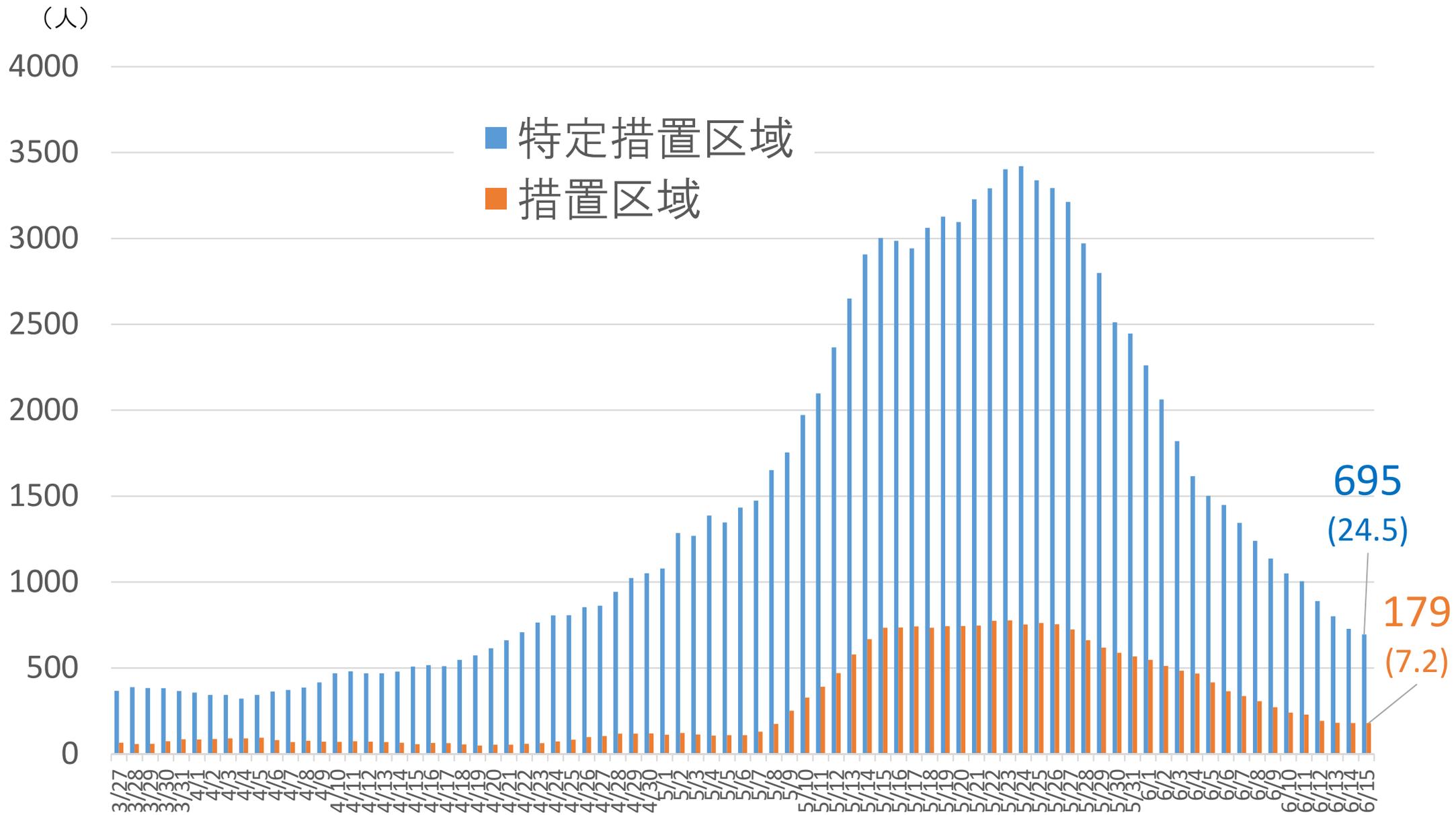


()は10万人当たり人数



()は10万人当たり人数

新規感染者数(特定措置区域／措置区域)



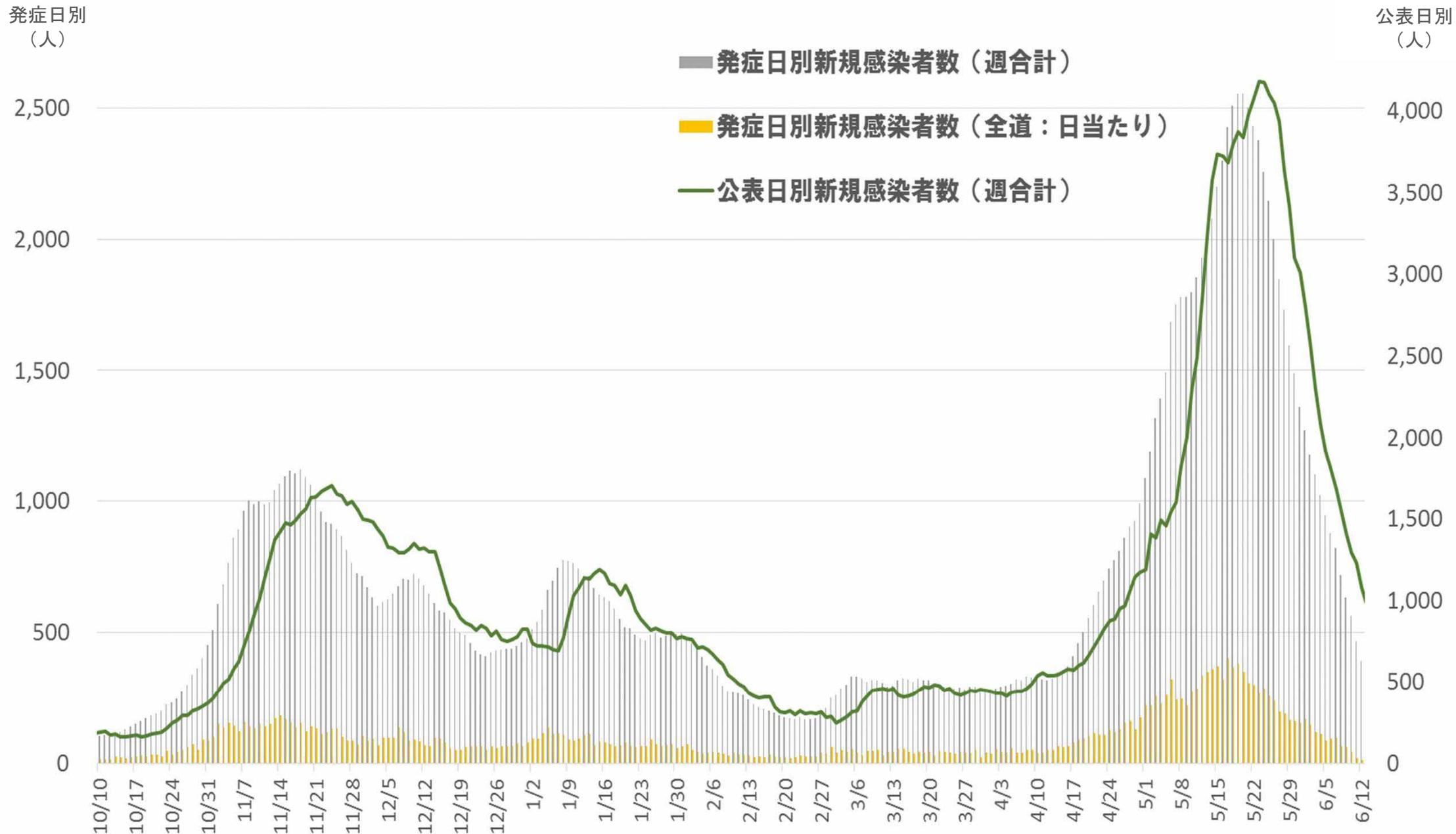
()は10万人当たり人数

地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
6/2 ～ 6/8	37	1,144	45	76	5	37	0	79	2	10	12	71	19	5	4	1,546
6/9 ～ 6/15	56	647	25	18	4	27	0	33	2	0	4	22	35	0	1	874

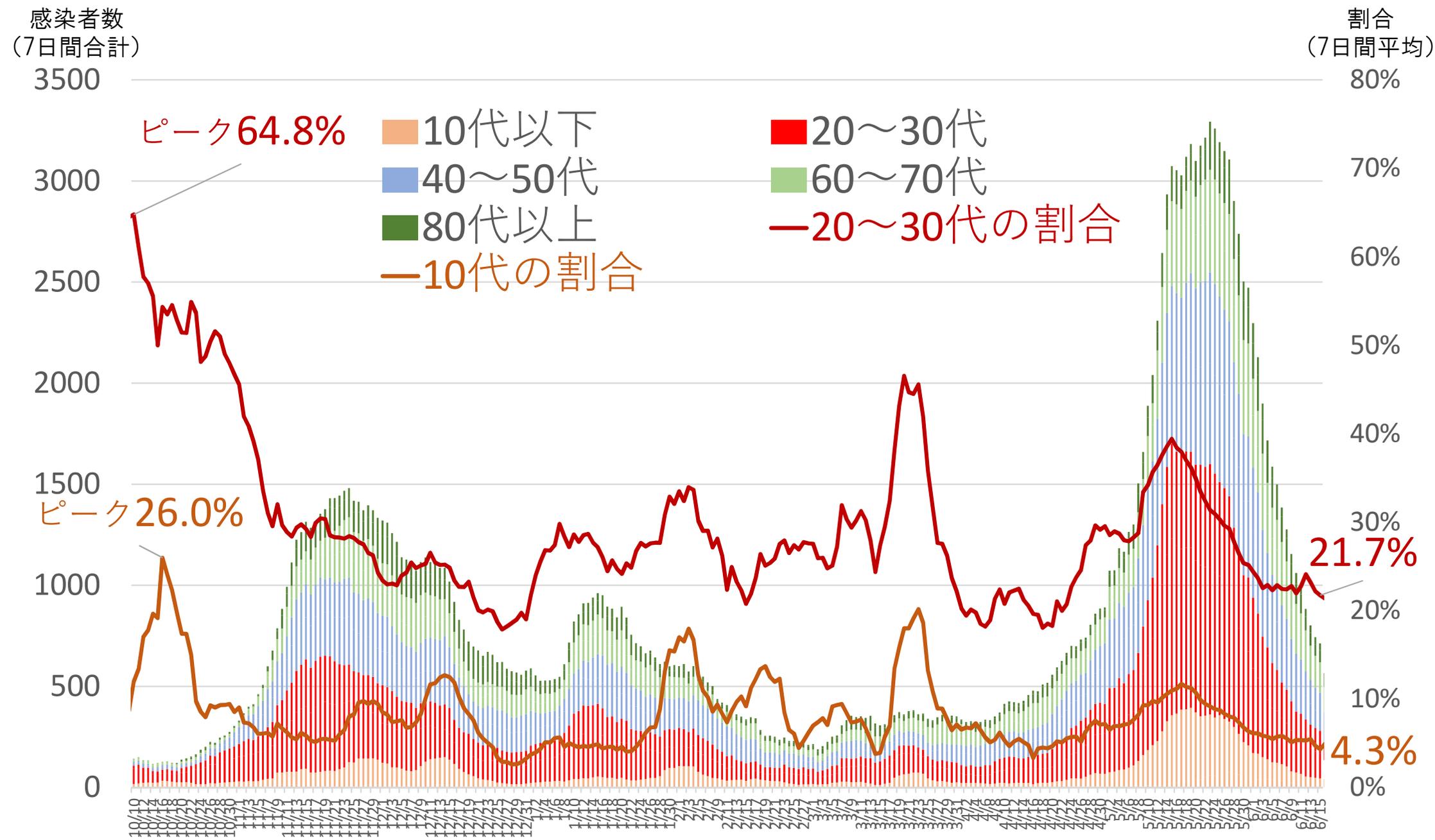
※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数と20代～30代の割合(全道)

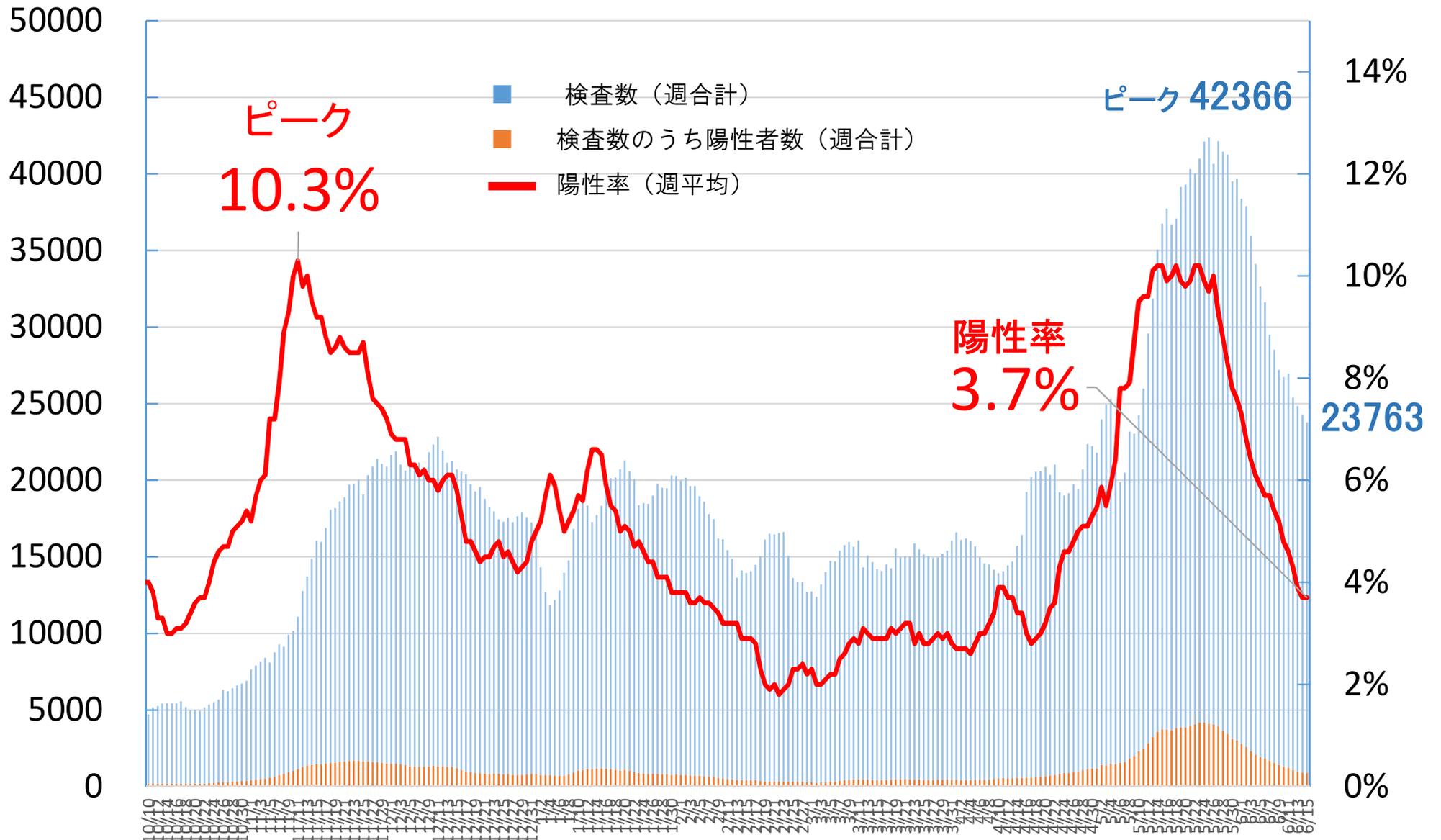


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

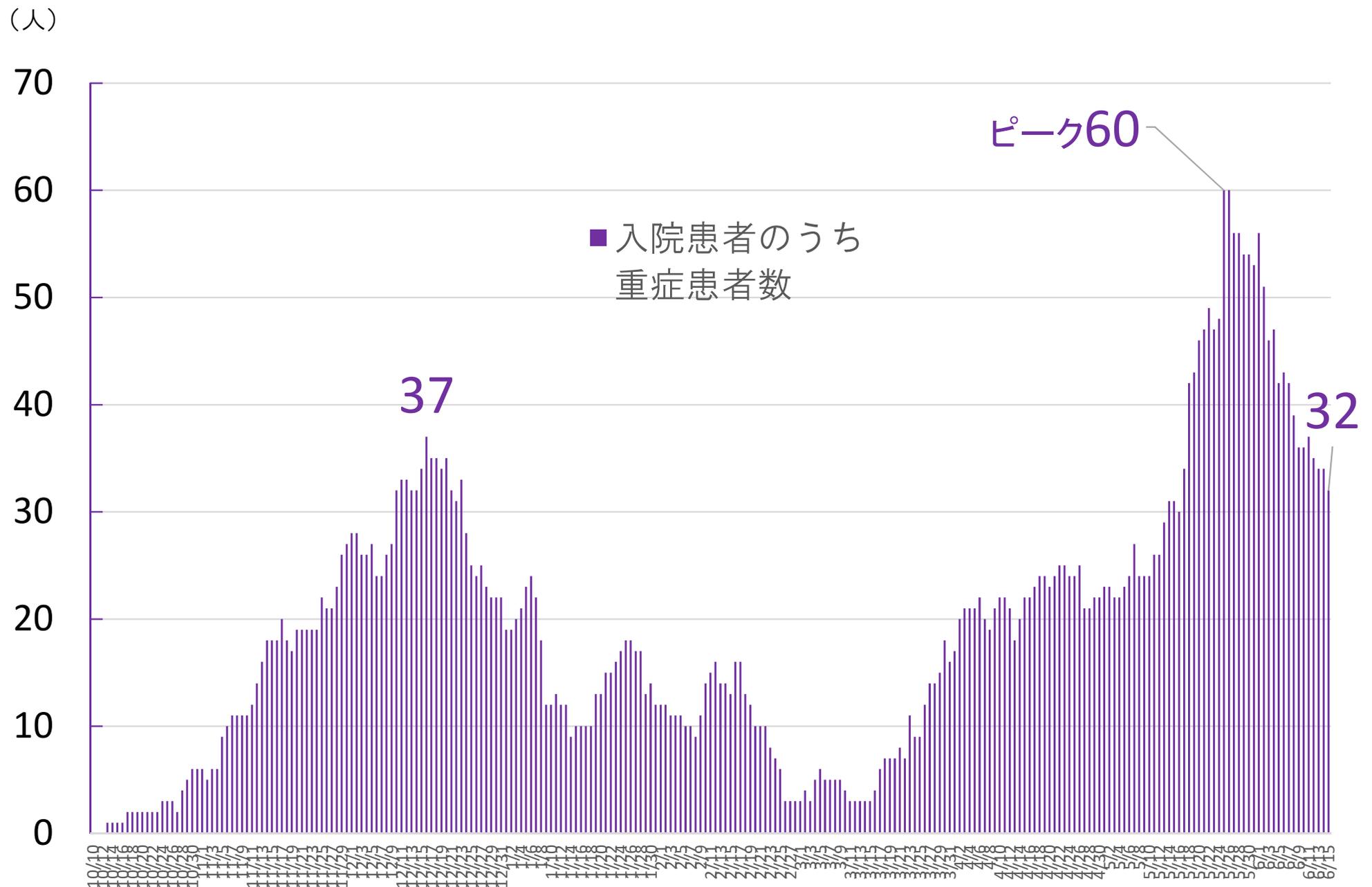
監視体制(陽性率と検査数)(全道)

検査数(人)

陽性率



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



集団感染の発生状況(全道)

	2月	3月	4月	5月	6月 (6/1~15)
医療施設 福祉施設	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (512人)	86件 (1797人)	18件 (182人)
事業所等	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (81人)	36件 (590人)	20件 (214人)
飲食店等	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)	13件 (134人)	1件 (8人)
学校	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (113人)	23件 (228人)	8件 (79人)
合 計	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (808人)	158件 (2749人)	47件 (483人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(特定措置区域／それ以外)

	5/26~6/1		6/2~6/8		6/9~15	
	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外	特定措置	それ以外
医療施設 福祉施設	11件 (174人)	8件 (242人)	11件 (120人)	—	4件 (37人)	1件 (10人)
事業所等	12件 (212人)	2件 (16人)	10件 (126人)	1件 (6人)	5件 (44人)	1件 (8人)
飲食店等	—	1件 (7人)	1件 (8人)	—	—	—
学校	3件 (17人)	—	3件 (39人)	2件 (16人)	1件 (11人)	2件 (13人)
合 計	26件 (403人)	11件 (265人)	25件 (293人)	3件 (22人)	10件 (92人)	4件 (31人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率)

1 高齢者（65歳以上）向け接種について

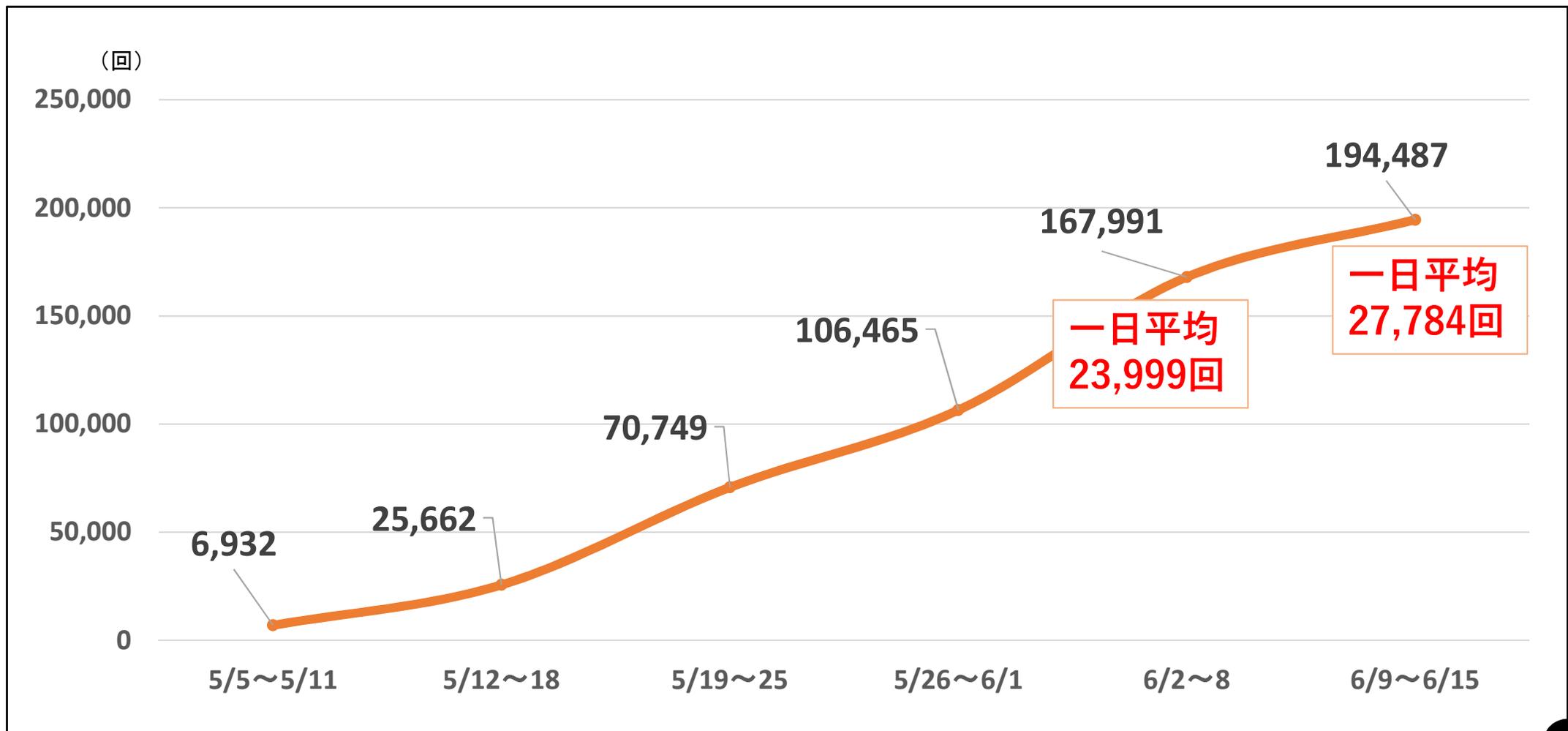
区分	接種回数	接種者数	接種率
北海道 (6月15日現在)	1回目接種終了	491,585人	29.7%
	2回目接種終了	84,360人	5.1%
全国 (6月14日現在)	1回目接種終了	13,137,848人	36.5%
	2回目接種終了	2,577,826人	7.2%

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種回数)

2 直近1週間における接種回数(65歳以上の高齢者)

■ 6月9日～6月15日：19万4,487回(一日平均：2万7,784回)

3 1週間毎の接種回数推移(65歳以上の高齢者)



新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 高齢者向け接種

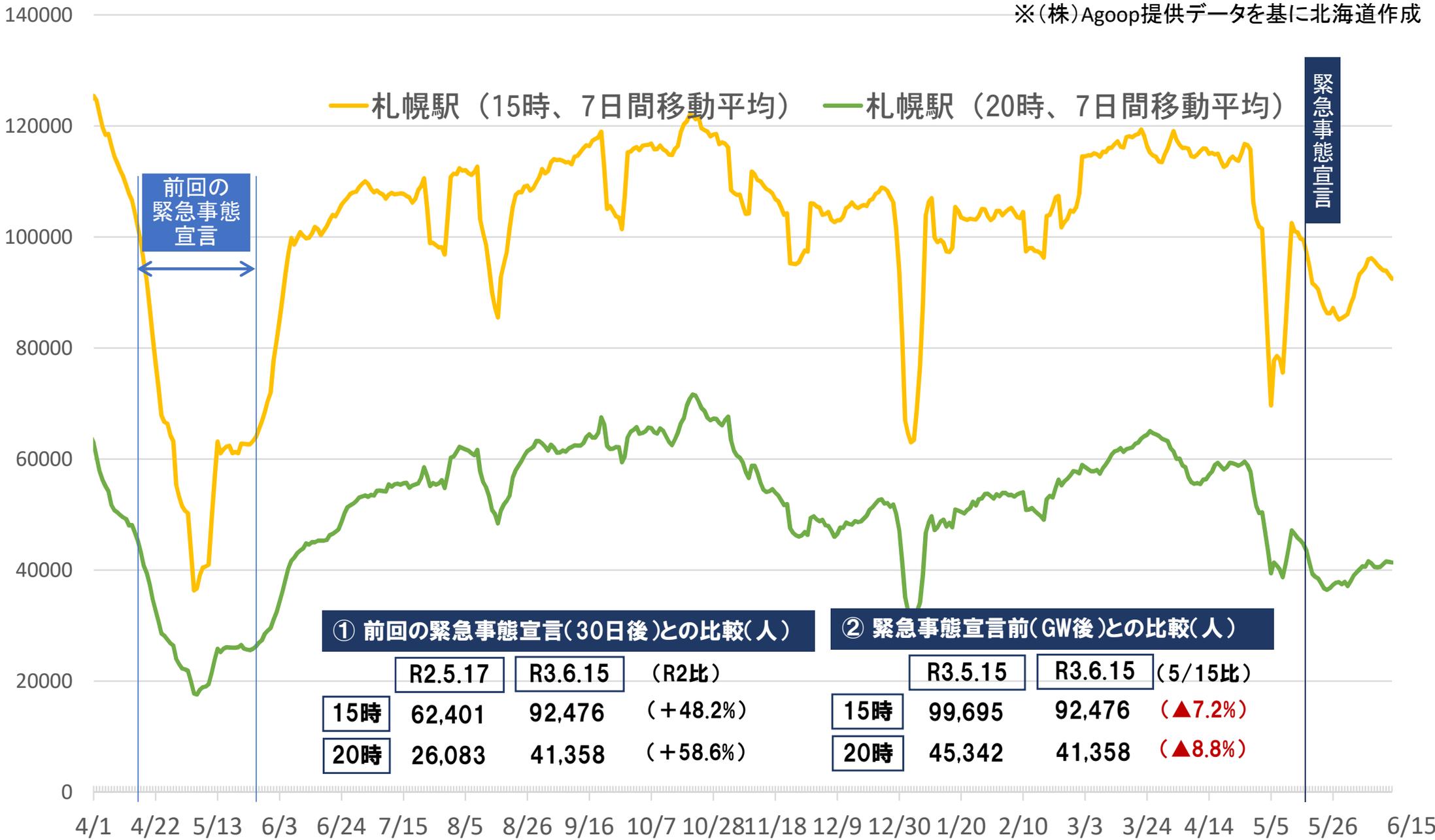
- 重症化リスクの高い高齢者の方々に、一日も早くワクチン接種を受けていただくため、市町村が行う集団接種に対する支援に加え、医療機関において実施される個別接種や集団接種に係る働きかけにも取り組む。
- 感染状況が極めて深刻な状況にあり、人口が集中し、道内感染者数の約75%を占める札幌圏に道医師会等と連携・協力の下、6月19日から7月末(予定)までの間、道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」を設置。予約受付を6月14日から開始(6月19日からの第1週の予約状況:6月16日9時現在、接種枠5,760件に対し、1,312件受付)。

5 職域接種の開始

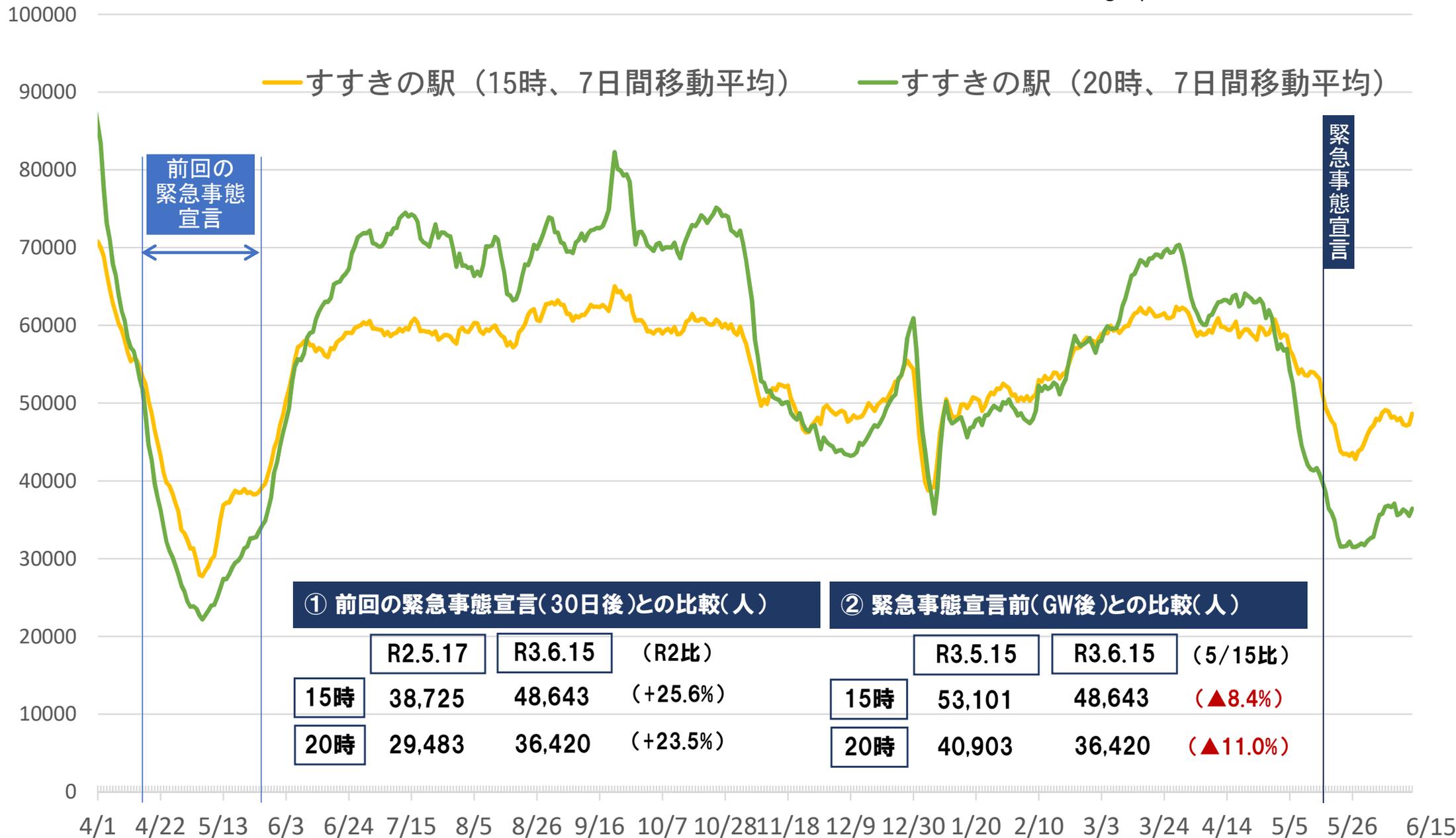
- 6月8日14時から、国のウェブ申請フォームにおいて、職域接種を希望する企業等からの受付を開始(6月15日現在、62件)。
- 職域接種を希望する業界団体の要請を踏まえ、WEB説明会により制度内容等を周知(6月16日、経済関係団体感染症対策連携会議で説明)。
- 道においては、感染症対策本部指揮室(ワクチン班)と本庁各部、振興局が連携し、実施を希望する企業や市町村への受付・支援体制を構築。また、道ホームページにおいて、国の申請フォームや関連窓口へのリンクなどの情報を掲載。

札幌駅周辺の人出

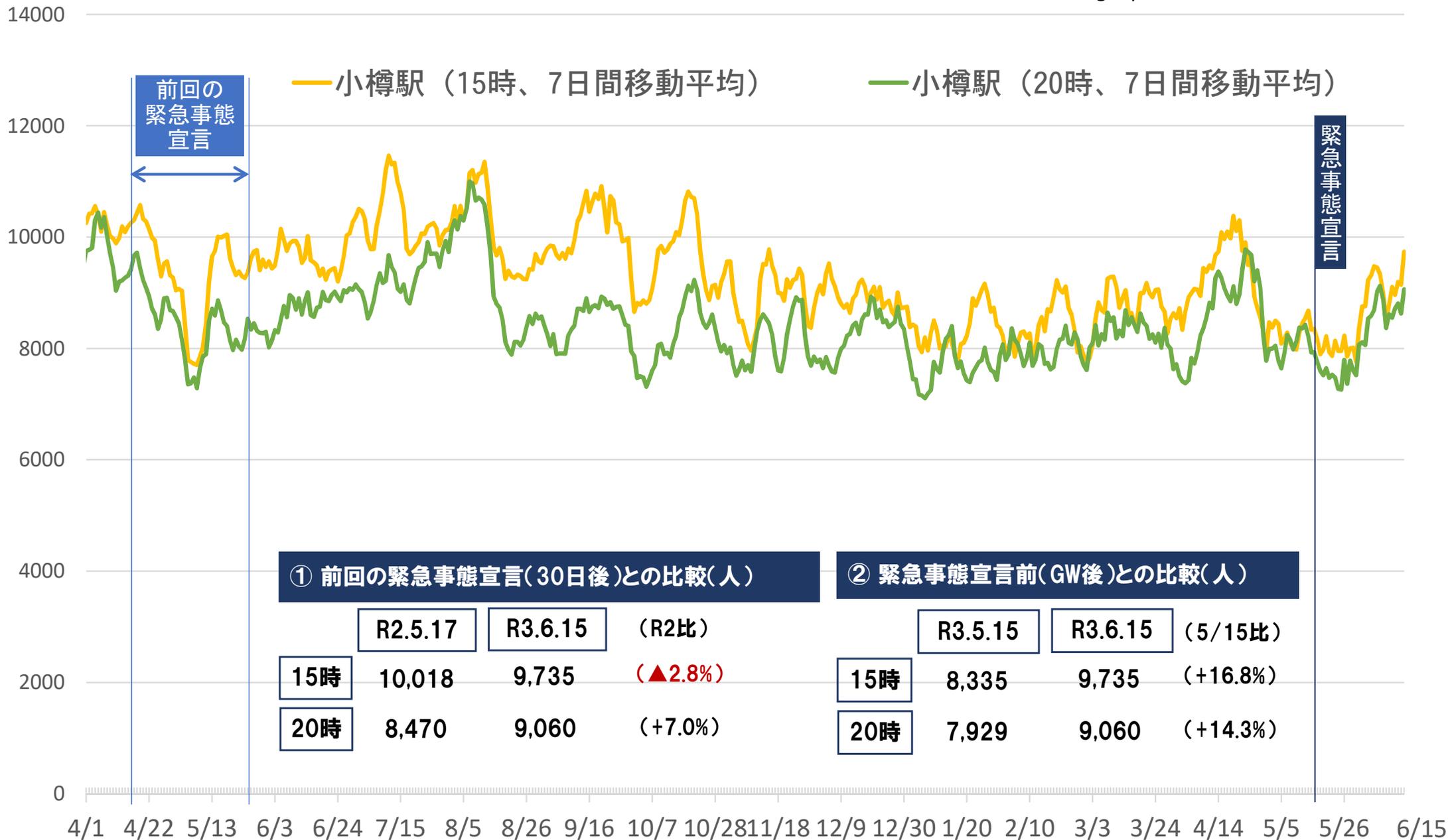
※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

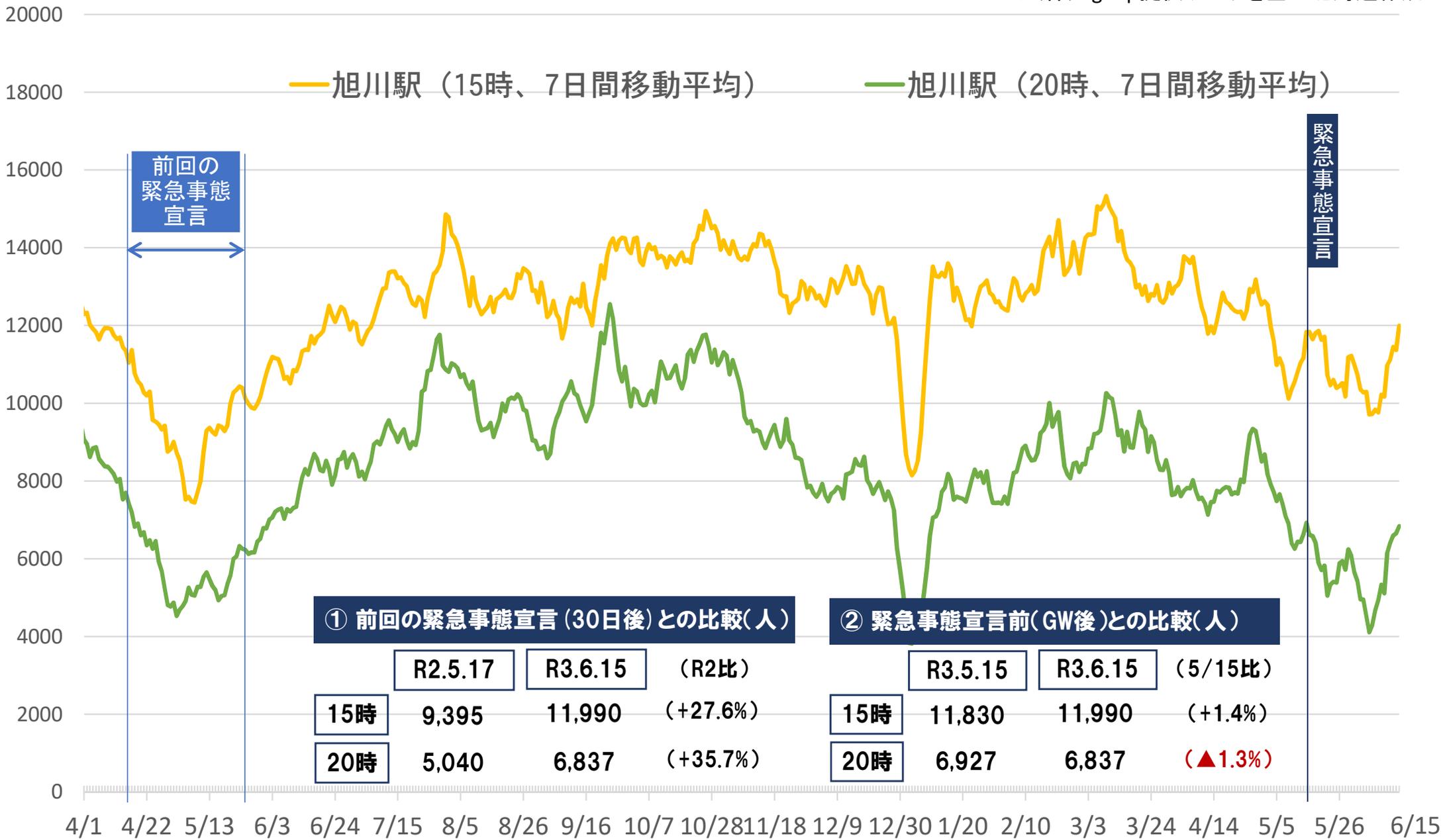


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



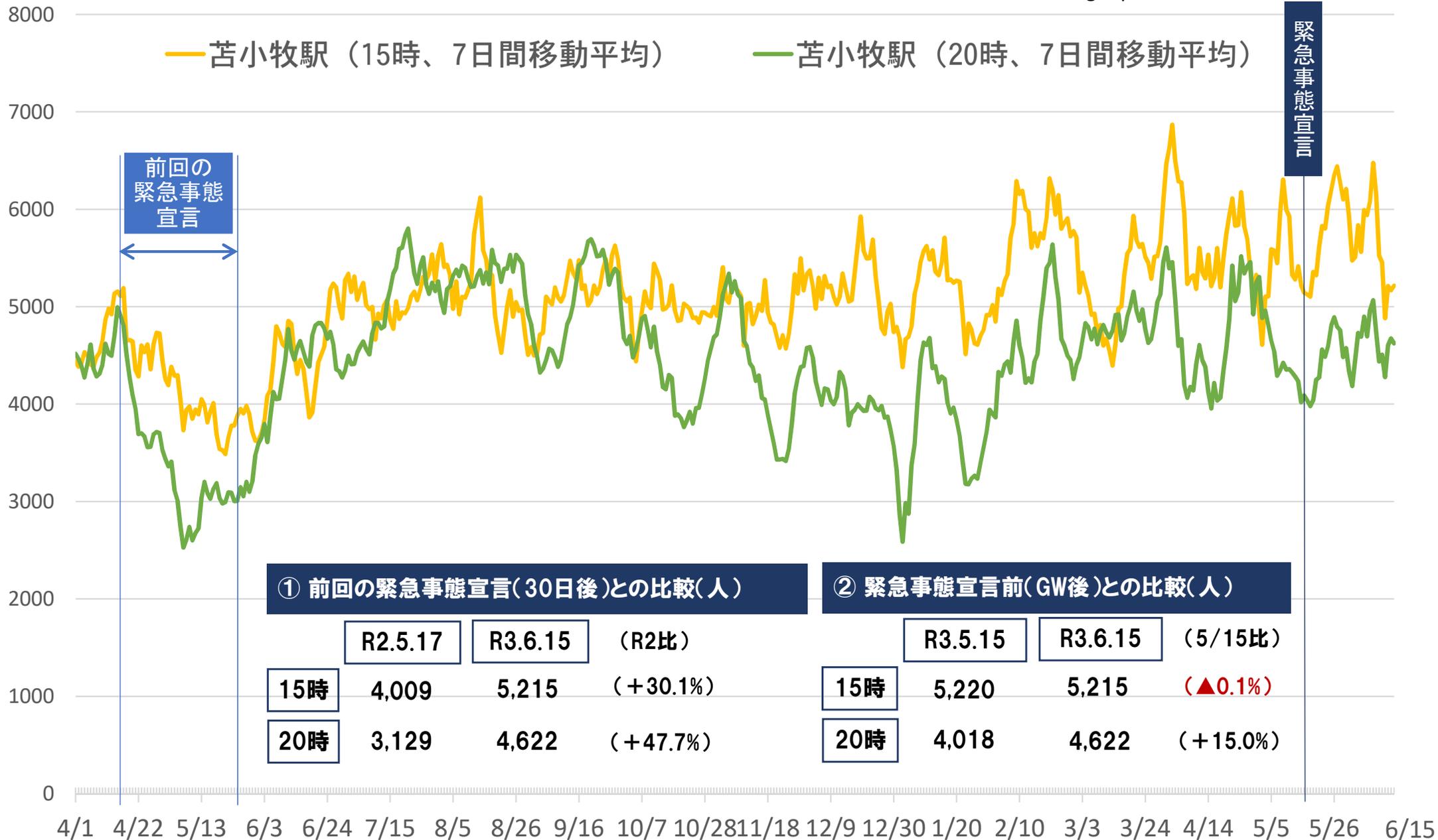
旭川駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



苫小牧駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



函館駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

— 函館駅 (15時、7日間移動平均) — 函館駅 (20時、7日間移動平均)



① 前回の緊急事態宣言(30日後)との比較(人)

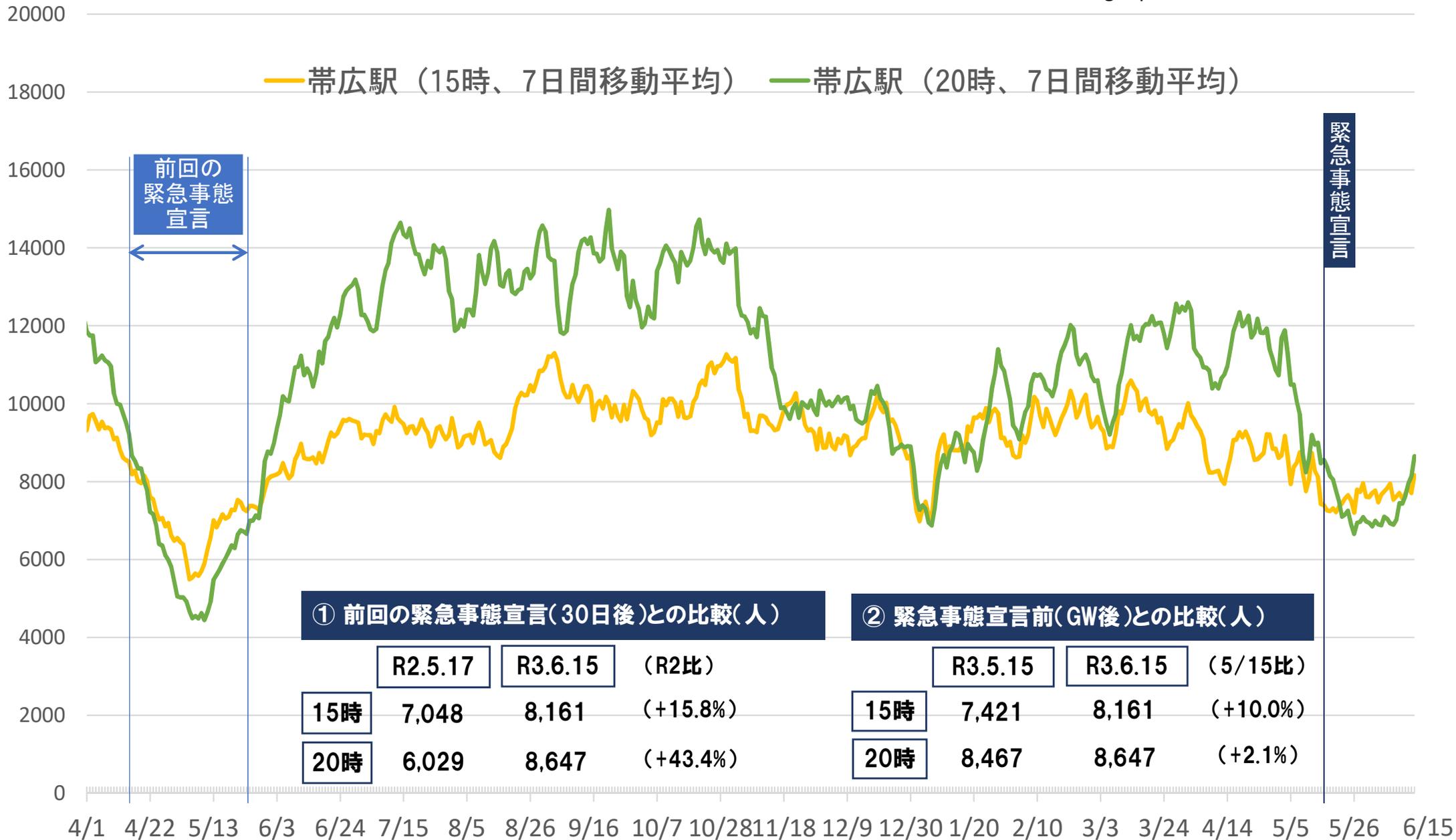
	R2.5.17	R3.6.15	(R2比)
15時	5,426	4,752	(▲12.4%)
20時	3,230	3,438	(+6.4%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

	R3.5.15	R3.6.15	(5/15比)
15時	5,459	4,752	(▲12.9%)
20時	4,933	3,438	(▲30.3%)

帯広駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



① 前回の緊急事態宣言(30日後)との比較(人)

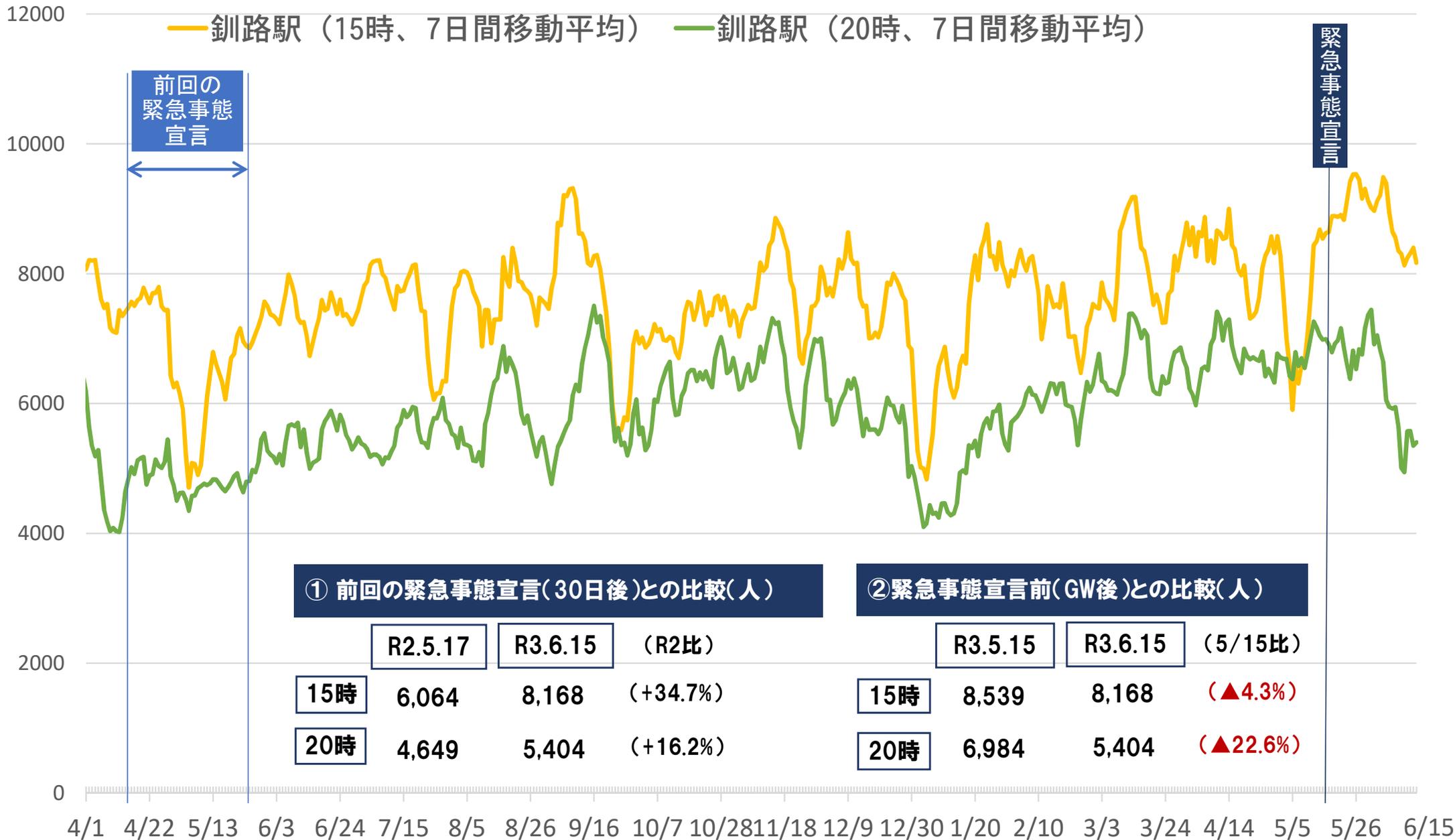
	R2.5.17	R3.6.15	(R2比)
15時	7,048	8,161	(+15.8%)
20時	6,029	8,647	(+43.4%)

② 緊急事態宣言前(GW後)との比較(人)

	R3.5.15	R3.6.15	(5/15比)
15時	7,421	8,161	(+10.0%)
20時	8,467	8,647	(+2.1%)

釧路駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



総評①

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、19日連続で前週を下回り、減少傾向が続いており、10万人当たり16.5人と道の警戒ステージ4(国のステージⅢ)の水準となった。
- 特定措置区域の感染状況について、札幌市では、減少傾向が続いているものの、10万人当たり29.4人と道の警戒ステージ5(国のステージⅣ)の目安を超えて、引き続き、高い水準にあり、市中での感染が続いている状況。札幌市を除く石狩振興局管内及び小樽市では新規感染者数は道の警戒ステージ4の水準に、旭川市では道の警戒ステージ3(国のステージⅡ)の水準となった。
- 措置区域の感染者数も減少傾向にあり、10万人当たり7.2人と道の警戒ステージ3の水準。
- 全道の主要な地点における人流は、緊急事態宣言前と比較して減少しているが、6月に入り、増加傾向が見られる地点もある。

【医療提供体制】

- 全道の入院患者数、療養者数は、減少傾向が見られるものの、引き続き、高い水準であり、特に、札幌市内においては、病床が満床に近く、引き続き、危機的な状況。

【ワクチン】

- 高齢者(65歳以上)166万人への接種は、6月15日現在、1回目29.7%、2回目5.1%が終了した。直近1週間における一日当たりの接種回数は、前週よりも約4千回増加し、約2万8千回となっている。
- 職域接種については、道内の企業・団体から、6月15日現在、62件申請があり、国において承認作業を行っているところ。

総 評②

【今後の対策】

- 新規感染者数の減少傾向をより確実なものとし、医療への負荷の低減につなげるため、6月20日までの間、全道域で人と人との接触を徹底して抑えるための対策を実施。特に、特定措置区域において、飲食店等への見回りや普及啓発などの対策に引き続き取り組むとともに、週末に向けて、外出を控えるよう、徹底した呼びかけを行う。
- 引き続き、多くの方が自宅で療養されており、食品や日用品セットの配付やパルスオキシメーターの貸与に加え、保健所による健康観察の徹底や必要に応じた在宅医療の提供など、万全の支援を行う。
- 6月19日に開始する道直営の「北海道ワクチン接種センター」の効果的な活用を図るとともに、地域の感染状況や接種状況等を見極め、柔軟な対応を行う。11月までに希望する方へのワクチン接種を終えたいとする総理発言を踏まえ、供給スケジュールなど国から情報収集を行いながら、引き続き、市町村支援や職域接種への対応など、希望する方が、1日も早くワクチン接種を終えることができるよう取り組む。
- 6月21日以降の対応について、札幌市内においては、引き続き、道の警戒ステージ5(国のステージⅣ)を超える水準にある厳しい感染状況等を踏まえ、人と人との接触機会の低減に向けた強い対策に取り組むことが必要。札幌市以外の地域においては新規感染者数が減少しているものの、入院患者数等が高い水準にあることから、感染防止対策、感染リスクを回避する行動の徹底を図る必要がある。